

日本の豆知識 ― 壁、床、キャンバスに描かれた言葉

日本の興味深いトピック 10 選

1. 日本には創業 1,000 年以上の企業があります

現存する世界最古の企業として知られるのが、日本の建設会社 **金剛組** です。578 年に創業し、1,400 年以上にわたり仏教寺院の建立に携わってきました。

現在でも日本には、創業 200 年以上の企業が数千社存在するといわれており、その数は世界でも群を抜いています。

2. 「過労死」という言葉があります

過労死（かろうし） とは、過度な労働によって命を落とすことを意味する言葉です。単なる表現ではなく、日本では国が関連事例を公式に把握・調査しています。

過度な長時間労働や強い精神的負担により、心筋梗塞や脳卒中、自殺に至るケースも報告されています。

3. ごみ収集車がメロディーを流す街があります

日本では、ごみ収集車がサイレンではなく、オルゴールのような穏やかなメロディーを流しながら巡回する地域があります。

これは周囲への心理的な負担を和らげ、生活環境に配慮するための工夫とされています。

4. 「涙活（るいかつ）」を楽しめる施設があります

日本には、思いきり泣いて心をリフレッシュする「涙活（るいかつ）」という考え方があります。

一部のホテルやカフェでは、感動的な映画を鑑賞し、涙を流して気持ちを解放できる専用ルームを用意しています。ティッシュやアイマスク、リラックスできるお茶が用意されていることもあります。

5. 日本の住宅には中央暖房がほとんどありません

日本の伝統的な住宅の多くは断熱性が高くなく、冬は屋外とあまり変わらない寒さになることもあります。

そのため、家全体を暖めるのではなく、

- こたつ
- 電気毛布
- 局所暖房器具

などを利用して過ごすのが一般的です。冬には室内でも厚着をして過ごす人が少なくありません。

6. 「代理謝罪サービス」が存在します

日本には、依頼者に代わって謝罪を行う **代理謝罪サービス** を提供する会社があります。

例えば、

- パートナーへの謝罪
- 上司への謝罪
- 別れ話の伝達
- 気まずい人間関係の仲介

などを専門スタッフが代行することがあります。

7. 掃除は子どもたちの大切な学びです

日本の多くの学校では、児童・生徒が自ら

- 教室
- 廊下
- トイレ
- 給食室や食堂

などを清掃します。

これは人件費を節約するためではなく、公共の空間を大切にする心や、協力して行動する姿勢を育む教育の一環として行われています。

8. ウサギの島とネコの島があります

日本には、動物たちで知られる島があります。

- **大久野島（おおくのしま）** — 「ウサギの島」
- **青島（あおしま）** — 「ネコの島」

場所によっては、人よりも多くの動物が暮らしています。

9. エレベーターにも細やかなマナーがあります

日本の企業では、エレベーターの利用にも細かなマナーがあります。

例えば、

- 操作ボタンを担当する人
- 最初に乗る人
- 最後に降りる人
- ドアを押さえる人

などの役割が自然に決まることがあります。

特に職場では、若手社員が操作を担当することも珍しくありません。このような気配りは日常生活にも見られ、最初に乗った人が操作を担当し、その人が途中で降りる場合は次の人が自然に役割を引き継ぐことが多くあります。

10. 「蒸発（じょうはつ）」と呼ばれる現象があります

日本では、これまでの生活を離れ、自ら姿を消して新しい人生を始める人々を「**蒸発（じょうはつ）**」と呼ぶことがあります。

毎年、多くの人が家族や職場とのつながりを絶ち、新たな生活を選択するといわれています。

その背景には、

- 借金
- 仕事による強いストレス
- 離婚
- 社会的なプレッシャーや人間関係

など、さまざまな事情があります。

こうした人々の引っ越しや生活再建を支援する、いわゆる「夜逃げ支援」を行う業者が存在することでも知られています。

日本のユニークなルールと習慣 10 選

1. 「メタボ健診」があります

日本では、生活習慣病の予防を目的として、40 歳から 74 歳までを対象に**特定健康診査（いわゆる「メタボ健診」）**が実施されています。

この健康診断では腹囲も測定項目の一つとなっており、多くの企業や公的機関で定期的に実施されています。

2. タトゥーが入場制限の理由になることがあります

日本では長い間、タトゥーは暴力団（ヤクザ）との結びつきが強いものと考えられてきました。

そのため現在でも、一部の施設ではタトゥーのある人の利用を制限している場合があります。

- 温泉
- プール
- フィットネスジム

小さなタトゥーでも対象となることがあります。

3. 電車の中では電話で話さないのがマナーです

日本では、電車内での通話は周囲への迷惑になると考えられています。

乗客は、

- メッセージを送る
- 読書をする
- スマートフォンを見る
- 眠る

など静かに過ごすことが一般的で、車内では通話を控えるのがマナーとされています。

4. エスカレーターには「立つ側」があります

東京では左側、大阪では右側に立つ習慣があります。

地域によって異なるものの、その由来についてははっきりとは分かっていません。

5. 人前で鼻をかむことは控えられる傾向があります

日本では、人前で大きな音を立てて鼻をかむことは、あまり好ましくないと考えられることがあります。

そのため、鼻をすするほうが周囲に受け入れられやすい場面もあり、この習慣に驚く海外の人も少なくありません。

6. お酒は自分より相手に注ぐのが礼儀です

食事会や宴席では、自分のグラスよりも相手のグラスにお酒を注ぐことが礼儀とされています。

自分だけにお酒を注ぐよりも、お互いに注ぎ合うことが自然な振る舞いとされています。

7. 「Japanese Only」の店が存在することがあります

一部の飲食店では、「Japanese Only」と表示し、日本語での対応が可能なお客様に限定して営業している場合があります。

その背景には、

- 言葉の壁
- 接客上のトラブルを避けたいという考え

などがあるとされています。

8. 街中にごみ箱が少ない理由があります

1990年代に発生したテロ事件をきっかけに、多くの公共ごみ箱が撤去されました。

そのため、日本ではごみを持ち帰る習慣が広く根付いています。

9. 職場での居眠りが努力の証と受け取られることがあります

日本には**居眠り（いねむり）**という考え方があります。

会議中などに短時間うとうとすることが、場合によっては

「それだけ一生懸命働いている」

という印象につながることもあります。

10. 「いいえ」を直接言わないことがあります

日本では、相手への配慮から、はっきりと「いいえ」と言わずに断る表現がよく使われます。

例えば、

- 「少し難しいですね」
- 「検討いたします」
- 「また機会があれば」

といった言い方が、実際には丁寧な断りを意味している場合があります。

ヨーロッパの人々を驚かせる日本の文化 10 選

1. 麺は音を立ててすするのが自然です

ラーメンやそば、うどんを食べる際には、麺を音を立ててすすることが一般的です。

これは**「おいしくいただいています」**という気持ちの表れとされ、失礼にはあたりません。

一方、ヨーロッパでは音を立てて食べることはマナー違反と受け取られることが多く、文化の違いとしてよく知られています。

2. 贈り物はすぐに受け取らないことがあります

日本では、贈り物を勧められた際、遠慮の気持ちを表すために一度や二度辞退してから受け取ることがあります。

これは相手への敬意や謙虚さを示す、日本ならではの礼儀の一つです。

3. 温泉では裸で入浴します

日本の伝統的な温泉では、次のような入浴マナーがあります。

- 水着は着用しません。
- 男女別の浴場が一般的です。
- 湯船に入る前には、体をよく洗います。

これは温泉を清潔に保つための大切な習慣です。

4. お辞儀にはさまざまな種類があります

日本では、お辞儀は単なる挨拶ではなく、相手や場面に応じて使い分けられます。

お辞儀の角度や所作は、

- 相手との立場の違い
- お詫び
- 敬意の表現
- ビジネスの場面

などによって変わります。

5. クリスマスといえば KFC

日本では、1970 年代の広告キャンペーンをきっかけに、クリスマスに KFC を楽しむ文化が広まりました。

現在では、多くの家庭が数週間前から予約をするほどの人気となっています。

6. 歩きながら食べることは控えられる傾向があります

日本では、歩きながら食事をするのは、場所や状況によってはあまり好ましくないと考えられることがあります。

購入した食べ物は、その場で立ち止まって食べたり、休憩スペースで食べたりする人も多く見られます。

7. マスクは新型コロナ以前から身近な存在でした

日本では、新型コロナウイルスの流行以前から、日常的にマスクを着用する習慣がありました。

マスクには、

- 周囲への配慮
- 風邪や花粉症対策
- 「今日はあまり話しかけられたくない」という気持ち

など、さまざまな意味が込められることがあります。

8. 電車の中はとても静かです

日本の電車では、混雑していても車内は驚くほど静かなことが少なくありません。

多くの人が読書やスマートフォンを楽しんだり、静かに休んだりして過ごします。

この静けさに驚く海外からの旅行者も多くいます。

9. ハグや握手はあまり一般的ではありません

日本では、欧米諸国と比べて身体的な接触は少ない傾向があります。

挨拶では握手やハグよりも、お辞儀が広く用いられています。

10. 「4」は縁起がよくない数字とされています

数字の「4」は**「死（し）」**と同じ発音であることから、不吉な数字と考えられることがあります。

そのため、

- 4 階
- 4 号室
- 4 個入りの贈答品

などを避ける例が見られることもあります。ただし、すべての建物や商品に当てはまるわけではありません。